

宮城県考古学会連絡紙

第85号

2022年7月10日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室 宮城県考古学会事務局

2022 年度宮城県考古学会総会・研究発表会について

5月14日(土)に、石巻市こもれびの降る丘遊楽館かなんホールにて、以下の日程で開催しました。会員・会員外あわせて93名(会員65名)の参加がありました。

【総会】10:00～10:50

佐々木和博会長から開会の挨拶があり、続いて議長団を選出し下記の審議事項と報告事項各6件について議事が行なわれました。

審議事項

- 議案第1号 2021年度の事業報告について
- 議案第2号 2021年度収支決算報告(案)
- 議案第3号 2022年度の事業計画(案)について
- 議案第4号 2022年度収支予算(案)
- 議案第5号 役員改選(案)について
- 議案第6号 東日本大震災復興調査成果活用実行委員会設置要綱の一部改正

報告事項

- (1) 東日本大震災対策特別委員会
- (2) 東日本大震災復興調査成果活用実行委員会
- (3) 宮城県考古学会普及委員会
- (4) 会誌投稿案内の改訂について
- (5) 2023年度日本考古学協会宮城大会開催への協力

以上の各議案について担当幹事(議案第1・3・5号は菅野智則幹事長、第2・4号は及川謙作総務代表幹事、第6号は菅野智則幹事長と長島榮一委員長)から説明があり、審議の結果、議案第1号から第6号まで可決承認されました。

【研究発表会】11:00～16:30

佐々木和博会長から挨拶の後、開催地の石巻市教育委員会 穴戸健悦教育長様より挨拶をいただき、石巻市教育委員会・宮城県教育委員会の共催のもと、特集「復興関係調査で拓かれた地域の歴史 3「新たにわかった!宮城の縄文時代」」として開催しました。下記の通り趣旨説明と口頭発表6件、誌上報告2件、遺物展示3件と、特集のまとめと今後の展望についての発表がありました。最後に、佐久間光平副会長から閉会の挨拶があり、終了しました。

口頭発表

- 特集趣旨説明 菅野智則
- 報告①「牡鹿半島における縄文集落遺跡-石巻市中沢遺跡・羽黒下遺跡の調査成果-」 佐藤佳奈
- 報告②「宮城県の前期縄文土器-復興調査を中心とする近年の成果と課題-」 早瀬亮介
- 報告③「復興事業に伴う貝塚調査と縄文前・中期の動物資源利用」 松崎哲也
- 報告④「里浜貝塚における集落と震災の歴史」 菅原弘樹
- 報告⑤「仙台市内の縄文後晩期遺跡-名取川左岸の低地域について-」 妹尾一樹
- 報告⑥「大崎平野北縁部の縄文晩期の遺跡群」 小野章太郎

特集まとめ

田村正樹

誌上報告

- 「山元町内の縄文遺跡調査成果」 初鹿野博之
- 「石巻市羽黒下遺跡の塊状耳飾の製作技術に関する実験考古学的研究-高倍率法-」 鹿又喜隆・佐藤みなみ

遺物展示

石巻市中沢遺跡・羽黒下遺跡、仙台市川前遺跡、気仙沼市波怒楽館遺跡・台の下貝塚

開催にあたっては、「宮城県考古学会 催事開催に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、催事スタッフ間で内容の周知を徹底するとともに、石巻市遊楽館イベント利用のしおり等による感染対策を遵守し、参加者の健康状態の把握、ソーシャルディスタンス、換気などを徹底しました。

昨年までは中止、限定的な開催でしたが、今年は研究発表会をコロナ禍以前の開催方法で開催することができ、発表者・参加者の別なく、活発な情報共有・課題検討の場とすることができました。発表会については好評で、最後にまとめを行ったことで、専門外の人にも理解されやすかったのではとの意見がありました。

なお、開催にあたり、情報発信については約1ヶ月前からHP、連絡紙での周知に努めましたが、今後も発表会開催の周知方法についてどのような方法があるか、さらに検討を行い、会員外、一般向けにPRしたいと思います。

博物館・展覧会・イベント等情報

【東北歴史博物館】

●館長講座

- 第4回 7月23日(土)「ヴィーナス像から土偶まで」
第5回 8月27日(土)「石器の使い方を科学する」
第6回 9月24日(土)「現代人的行動の起源」
第7回 10月22日(土)「「首長」から「王」へと至る道」
第8回 11月26日(土)「古代東北と、世界の六大文明」
〔時間〕13:30～15:00
〔場所〕東北歴史博物館 3F 講堂
〔定員〕各回 145名(事前申込み制、先着順)、無料

【宮城県美術館】

●特別展「ポンペイ」

- 〔会期〕7月26日(土)～9月25日(日)
〔開館時間〕9:30～17:00(入館は16:30まで)
〔休館日〕月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〔観覧料金〕一般 1,500円、学生 1,300円、小・中学生・高校生 750円

【多賀城市埋蔵文化財調査センター】

●速報展示「令和3年度の調査成果」

- 〔会期〕6月11日(土)～7月18日(月・祝)
〔開館時間〕9:00～16:30(入館は16:00まで)
〔休館日〕毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館日)
〔観覧料金〕無料

【七ヶ浜町歴史資料館】

●企画展示「松島湾三町文化財展」

- 〔会期〕7月2日(土)～9月4日(日)
〔開館時間〕9:00～16:00(入館は16:15まで)
〔休館日〕月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〔観覧料金〕無料

【石巻市博物館】

●特別展示「発掘された日本列島2022」

- 〔会期〕9月17日(土)～10月23日(日)
〔開館時間〕9:30～17:00(入館は16:30まで)
〔休館日〕毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館日)

【松山ふるさと歴史館】

●企画展示「大崎市の横穴墓」

- 〔会期〕5月21日(土)～8月21日(日)
〔開館時間〕9:30～17:00(入館は16:30まで)
〔休館日〕月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〔観覧料金〕一般・大学生 230円、高校生以下 110円

県内発掘調査情報

●後沢遺跡・後沢道南遺跡

- 〔所在地〕栗原市築館字萩沢後沢ほか
〔調査主体〕宮城県教育委員会
〔調査期間〕令和4年7月1日～11月(予定)

●大吉山瓦窯跡

- 〔所在地〕大崎市古川小林字浦越
〔調査主体〕宮城県多賀城跡調査研究所・大崎市教育委員会
〔調査期間〕5月16日(月)～8月(予定)

〔備考〕7月23日(土)に現地説明会開催。事前申込制(大崎市教育委員会文化財課ホームページを参照)。

●吹付窯跡・大衡中学校東遺跡

- 〔所在地〕黒川郡大衡村大衡字萱刈場ほか
〔調査主体〕宮城県教育委員会
〔調査期間〕令和4年5月9日～

●多賀城跡

- 〔所在地〕多賀城市字市川・浮島
〔調査主体〕宮城県多賀城跡調査研究所
〔調査期間〕4月27日(水)～9月(予定)

会誌『宮城考古学』について

●第25号(2023年5月発行予定)の原稿募集

投稿希望の方は2022年11月30日までに、第24号掲載の投稿申込みフォームにて下記アドレスまでお申込みください。投稿申込みフォームは宮城県考古学会ホームページからもダウンロード可能です。応募多数の場合は早めに受付を終了します。原稿締切りは2023年1月31日です。【原稿の種類】①論文(22頁以内)②研究ノート(12頁以内)③展望(12頁以内)④資料紹介(8頁以内)ほか。書式等の詳細は第24号を参照願います。

<連絡先>梅川 隆寛(会誌代表幹事)

E-mail:miyagikougakugaku@gmail.com

●第24号の訂正について

館内魁生会員の研究ノートの下記の箇所について、校正段階で削除を依頼されておりましたが、会誌幹事会のミスで削除されないまま掲載されてしまいました。下記の通り訂正するとともに、深くお詫び申し上げます。

p.273 上から10行目:「なお、SK078は西脇殿に隣接しているが、土坑を設けた時期に建物が存続していたかは不明である。」を削除。

会費の納入をお願いいたします

会費は一般会員が4,000円、学生会員が1,000円、夫婦会員が5,000円です。未納の方は、お早めにお支払い下さい。

文化財担当職員・学芸員の採用情報を募集しております

宮城県内の文化財担当職員や学芸員の採用情報を募集しております。提供していただいた情報は、当会Webサイトにて公開いたしますので、よろしく願いいたします。

<連絡先>高橋 透(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、ご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先>高橋 透(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)